

大阪府立国際児童文学館

REPORT

発行 財団法人大阪国際児童文学館
 〒565-0826 吹田市千里万博公園10-6
 大阪府立国際児童文学館内
 TEL (06) 6876-8800 FAX (06) 6876-8686
<http://www.iiclo.or.jp>



No. 22 2003. 10. 1

子ども向け図書検索システム

「本の海大冒険」の開発・研究

現在、子どもたちはさまざまなメディアを通し、あるいはインターネットを利用して情報収集をしています。しかし従来、日本においては子どもが自ら本を探す充実したサイトが見当りませんでした。

そこで当館では、国立オリンピック記念青少年総合センター子どもゆめ基金の助成を得て、「インターネットを活用した子ども向け図書検索システムの開発・研究」を行い、子どもが本を探すためのシステムについて研究を行い、その成果として読書活動支援ソフト「本の海大冒険」を開発しました。

研究・開発は、児童文学の専門家だけでなく、教育工学や情報論の分野から共同研究者の参画を得て行いました。

当館では、これまで、本のあらすじや物語に関するキーワードを蓄積してきました。このサイトを開発するにあたっては、これらの蓄積や各種のデータを活用したほか、物語件名（キーワード）の体系を作成し、関連することはを辿りながら本を探すシステムを作りました。

絵本作家・佐々木マキさんのキャラクターが案内役となり、ゲーム検索や作家・キャラクター紹介などを用意、簡易な操作で本の情報を入力することができます。

今後、さらに登録データの充実を図り、キーワード体系の充実を行い、興味や関心のある本を的確に探すことができる独自のシステムをめざしたいと思います。子どもが本を楽しみながら探してもらえ、ることを期待しています。

<http://kids.iiclo.or.jp>



TOP画面

目次

- 子ども向け図書検索システム「本の海大冒険」の開発・研究…………… 1
- 2002年度の活動（2002年4月～2003年3月）…………… 2
- ありがとうございました（資料寄贈者 2002年4月～2003年3月）……………別冊

この「REPORT」では二〇〇二年四月から二〇〇三年三月までの活動をご報告します。

二〇〇二年度の活動 (二〇〇二年四月～二〇〇三年三月)

新刊一年分の子どもの本と関連書を開架

四月から二階閲覧室に、絵本・読み物・知識の本・子どもの本に関する一般書(大人向)などの新刊一年分、約五千冊を開架(定期的に入れ替え)しました。書店・図書館にも揃っていない本をまとめてご覧いただけます。中学生以上の方は、どなたでも閲覧室を利用できます。

大阪府子ども読書活動推進事業

二〇〇一年一二月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、大阪府ではこれを受けて二〇〇二年四月に「大阪府子ども読書活動推進会議」を組織し、文部科学省より「子どもの読書活動推進事業」助成金を得て、活動を開始した。当館はその事務局として、次のような事業を進めました。

◆フォーラム「幼い子どもと絵本を楽しむ」の開催/九月七日、八日/大阪市立こども文化センター

〈講演会「幼い子どもの絵本を創る」講師〓岸田裕子(詩人・童話作家)・片山健(画家)、九月七日/シンポジウム「親と子が楽しむはじめての絵本」パネラー〓脇谷邦子・森崎シズ子(熊取町文庫連絡協議会代表)・渡辺猛(ひかりのくに保育絵本編集者)・新平鎮博(大阪市立大学大学院教授)、コーディネーター〓永田桂子、九月八日/日本の赤ちゃん絵本の歴史展/おはなし会/科学あそび/人形劇〉

◆子どもの読書活動に関する調査とシンポジウムの開催

大阪府域の小中学校・養護学校・盲学校・聾学校・公立図書館・学校の読書ボランティアグループを対象とした子どもの読書活動に関する調査を実施し、調査結果をまとめました。その中から主要なデータを当館ホームページで公開しています。あわせて、二〇〇三年三月にシンポジウムを開催し、今後の読書活動推進の方策を話し合いました。

シンポジウム「よりよい子どもの読書環境をめざして」講師〓佐野實(大阪府学校図書館協議会会長)・谷

垣笑子(豊中市立岡町図書館司書)・右田ユミ(箕面市立豊川南小学校図書館司書)・白井照子(大阪府子ども文庫連絡会代表)/コメンテーター〓塩見昇(大谷女子大学教授)/場所〓当館講堂/三月二三日



◆リーフレットの作成・配布

子どもがはじめて出会う絵本とその楽しみ方を紹介するリーフレットを作成し、乳幼児検診の折に府域の乳幼児の保護者に配布しました。当館ホームページでもご覧いただけます。

共同研究

◆インターネットを用いた子ども向けの図書検索システムの開発

インターネット環境があれば、簡単にアクセスでき、画面上の様々なアイテムを選択したり、ゲームを楽

しむ中で、子どもたちがおすすめの本に出会えるシステム「本の海大冒険」を研究開発しました。(くわしくは、一頁をご参照ください。)

◆〇・一・二歳児を対象とした絵本―その意義と活用―

三歳未満児を読者対象にした絵本について研究し、保護者と子どもが絵本をより楽しむための情報を提供していきます。

二〇〇二年度は保護者へのアンケートや面談を行いました。絵本を見せる活動は七ヶ月頃から始まり、一歳半頃には多くの家庭で行われており、家庭にある本はいわゆる「赤ちゃん絵本」だけではなく様々な絵本に囲まれているという結果を得ました。詳細に関しては報告書にまとめ公表しています。

団体利用プログラム

より多くの子どもが読書の楽しさを味わえるように、児童文学・児童文化の専門職員が日頃の実践や研究の成果を生かして、子どもたちに直接サビラスする「団体利用プログラム」を用意し、二〇〇一年の夏から提供しています。これは、保育所・幼稚園・小学校・中学校、その他団体で利用していただくプログラムです。

たとえば、「テーマ別のおはなし(魔法・ナンセンス・クマ・食べ物など)」「昔話に親しもう」「ワークシヨップ(おはなしであそぼう)」「子どもの本の歴史」などのテーマで、おはなし・絵本・ビデオ・紙芝居・本の紹介・解説・ワークシヨップなどを織り交せて、子どもたちが本や物語の世界にふれて楽しい時間をもてるように魅力的なプログラムを用意しました。

二〇〇二年度は、三五〇〇人の子どもたちが利用し、大変好評を得ました。このプログラムの利用には、事前の予約が必要です。くわしくは、当館までお問い合わせください。

講座・講演会

児童文学館で開催

◆「赤ずきんは、いま」講師サンドラ・ベケット博士(Dr. Sandra Beckett)
(カナダ・ブロック大学教授・国際児童文学学会会長・当館客員研究員)
／通訳 多田昌美(美作女子大学講師)／四月一四日



サンドラ・ベケット博士

◆「紹介と解説 二〇〇一年に出版された本」講師 西村寿雄(大阪科学読物研究会)・川内五十子(当館主事)／司書 小松聡子(当館主任専門員)・土居安子(当館専門員)／四月一八日(木)・二九日(月)

◆児童文学講演会「ぶたのたねあかし」講師 佐々木マキ・聞き手 土居安子／人形劇「ぶたのたね」出演 人形劇団クラルテ／五月二六日

◆ポランティア養成連続講座「子どもと本をよむ」講師 当館職員／六月四日から毎週火曜・五回連続、最終回のみ七月九日
基調講演「本はステキな友だち」講師 中川正文／七月九日

◆「アジアの子どもの本のつどい」講師 しかたしん(作家)・成實朋子(大阪教育大学講師)・仲村修(韓国・朝鮮児童文学研究者)・中由美子(中国児童文学研究者・翻訳家)／共催 アジア児童文学日本センター／一〇月六日

◆「イギリスの昔話を楽しむ」語り・スコティッシュハーブ演奏 ニック・ヘネシー(Nick Hennessy)／一〇月二九日

◆「オランダの子どもの本を語る」リンデルト・クロムハウト講演会 講師 リンデルト・クロムハウト

(Rindert Kromhout) (作家・評論家)／後援 日本国際児童図書評議会・オランダ大使館／協賛 P H P 研究所・湖北社・童心社・K L M オランダ航空会社／協力 オランダの子どもの本を語る会／一二月八日

展 示

◆「世界一強い女の子の生みの親」リンドグレーンの本
四月一日〜六月二九日

◆「アジアの子どもの本」
七月一日〜九月二九日

◆「親子が楽しむはじめての絵本」
一〇月一日〜二月二七日



◆「日本児童文学の世界を広げた、ふたつの星 いぬいとみこ&上野瞭展」
一月五日〜二月一日

◆「第一九回ニッサン童話と絵本のグランプリ入賞作品展」
三月一日〜四月八日

子ども室行事

◆夢の池劇場

・映画「ロッタちゃん はじめてのおつかい」協力：プラネット映画資料図書館／五月三日

・「西アフリカおはなし村からとっておきのおはなし」出演 江口一久(国立民族学博物館教授)・河辺知美(セネガルの太鼓演奏家)・ンコシ(南アフリカの音楽家)／五月四日

・「絵本『のはらひめ』の世界であそぼう」上演：劇団うりんこ 演出：つげくわえ 講師：中川千尋(児童文学作家) 五月四日(子どもゆめ基金助成事業、後援 大阪府子ども文庫連絡会)

◆その他の行事から

この他におはなし会二十回、物語体験ワークシヨップ六回、街頭紙芝居等の行事を計三十七回行いました。

おはなし会のテーマは「カナダ」「ふたご」「たまご」「さかな」「百物語」等で、他にポランティア参加のことも読書の日記念「おはなしのバスケット」(四月二二日)を開催。物語体験ワークシヨップでは、「ピッツアぼうや」「だくちるだくちる」等の作品を取り上げました。

大型ビデオ上映会は「どうぶつ

アニメーション」(四月七日)「夏のはなし」(八月二十五日)を上映。

また、「子どもゆめ基金」の助成で、「こどもの本の作家 たかどのほうこさんと遊ぼう」(三月九日)を開催。絵本から児童文学作品まで幅広い領域で活躍中の人気の作家たかどのさんをお迎えして、インタビュ、おはなし作り、サイン会などを開催。同様のプログラムを豊中市立岡町図書館、箕面市立西南図書館で開催。



子どもと自作を演じる
たかどのさん

発行物

◆「外国人客員研究員報告集二〇〇二年度」

・「今日の児童文化における赤ずきんの不変の人気について」サンドラ・ベケット(ブロック大学教授)
・「児童伝説批判」をめぐる一考察
鄭如峰

カナダとスリランカから客員研究員を招聘

海外の児童文学研究者に対して企業の賛助金と府の補助金を原資として当館が奨学金を支給し、当館に招聘して、児童文学の研究を行うことを支援する外国人客員研究員制度があります。

一九八九年にスタートし、現在までに二五カ国、四〇人の研究者を招聘しました。二〇〇二年度の客員研究者は次の方々です。(氏名/国籍/所属/研究テーマ/滞在期間)

・サンドラ・ベケット博士(Dr. Sandra Beckett) / カナダ / ブロック大学教授・国際児童文学学会会長 / 日本の絵本における昔話の再話 / 二〇〇二年三月～四月
・ブラサンサ・カルコッテゲ / (Dr. Prasanna Kalukottege) / スリランカ / スリジャエワルデネプララ学助教授 / 日本における翻訳絵本 / 二〇〇三年三月～八月

賛助企業名(五十音順)
大阪ガス(株) / (株)大林組 / 関西電力(株) / 近畿日本鉄道(株) / 栗原工業(株) / サントリー(株) / 住友信託銀行(株) / 武田薬品工業(株) / (株)竹中工務店 / 東洋紡績(株)

／松下電器産業(株) / (株)三井住友銀行 / (株)りそな銀行 / (株)UFJ銀行

第一九回「ニッサン童話と絵本のグランプリ」入賞者を表彰

日産自動車(株)の協賛を得て、当財団が主催している「ニッサン童話と絵本のグランプリ」は、童話と絵本の振興に寄与するとともに、新人作家の登竜門ともなっており高い評価を得ています。

第一九回の応募総数は、童話三三八四編、絵本九九二編で、童話・絵本ともに回を重ねることに作品のレベルが向上してきています。

厳正な審査の結果、次の作品が入賞し、三月一六日に当館で表彰式が行われました。

大賞・優秀賞の作品と入賞者を紹介したパンフレットを配布しました。(於当館及び日産ギャラリー・日産アブリート)

童話の部

【優秀賞一席】

「ネコひげアンテナ」

屋島みどり(香川県)

【優秀賞】

「はくとお兄ちゃんのゆめバジヤマ」

東原美佐(埼玉県)

「はとばじい」
村井恵(広島県)
「はるおさんの春までの仕事」
池田友和(東京都)

【佳作】二〇編
絵本の部

【大賞】

「しろしろのチョーク」

中新井純子(大阪府)

【優秀賞】

「サルのピキ」 成田聡子(愛知県)

「ほしのむらのケルル」

山口深雪(京都府)

「シャンブーよりも楽しいな」

丸岡慎一(長崎県)

【佳作】一〇編

人事

川浦孝之(専門員)

二〇〇二年八月一日付採用

小森伸子(専門員)

二〇〇二年九月一日付採用

永田桂子(主任専門員)

二〇〇三年三月三十一日付退職

上野陽子(主任専門員)

二〇〇三年三月三十一日付退職